

警告



この製品をご使用になる前に本取扱説明書を必ずお読みください。

警告・使用方法に記述されている内容に従わないと、けが、事故などが発生する場合があります。

この度は goot 鉛フリー対応はんだ槽をお買いあげいただきましてありがとうございます。
本機は goot の高い品質管理のもとで、安全簡単な操作ができるよう設計、製造されています。
本機を安全・快適にご使用いただくため、説明書の注意事項に従って正しくご使用ください。

この取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください

この説明書に表示されている警告・注意文は以下の区分です。



警告

警告に従わない場合は使用者や周囲の人が死亡、重傷を負う危険が想定されています。火災、感電やけがを防ぐ為、注意事項に従ってください。



注意

注意に従わない場合は、使用者や周囲の人が軽傷をおうか、物的損害が発生する危険が想定されています。火災、感電やけがを防ぐ為、注意事項に従ってください。

1. 目次

- 1. 目次..... 1
- 2. 仕様..... 2
- 3. はじめに 2
 - 3.1 特長 2
 - 3.2 開封 2
- 4. 安全のために 1
- 5. 操作方法 1
 - 5.1 設置方法..... 1
 - 5.2 部品名称とコントロールパネルの機能 1
 - 5.3 設定方法..... 2
- 6. メンテナンス 3
- 7. 故障の時に..... 3
- 8. 交換部品 3
 - 8.1 交換部品..... 3
 - 8.2 交換手順..... 3

2. 仕様

モデル	POT-50C
定格電圧	100V AC 50/60 Hz
定格電力	420W
突入電流	約 24 A / 0.2 sec. (はんだ温度 25°C 時)
最高使用温度	室温 ~500°C
本体寸法	174(W) x 285(D) x 142(H)
ツボ寸法	50(W) x 50(D) x 50(H)
本体重量	約 4Kg
溶解はんだ容量	約 850g
ツボの材質	鋳鉄
電源コード	1.5m (3 芯コード) アース付

3. はじめに

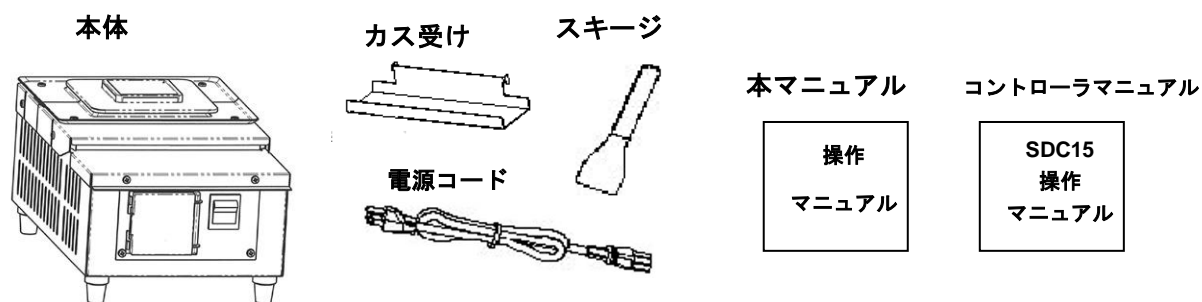
3.1 特長

- POT-50C は、トランスリードやリード線の被覆剥がし、予備はんだに適しています。
- PID 制御により、はんだの温度と設定温度は、ほとんど偏差を生じません。(センサーフィードバックによる ON-OFF 制御への切替も可能。)
- 2つのデジタルディスプレイにより、設定温度と測定温度が同時に確認できます。
- 長寿命のセラミックヒーターを使用しています。

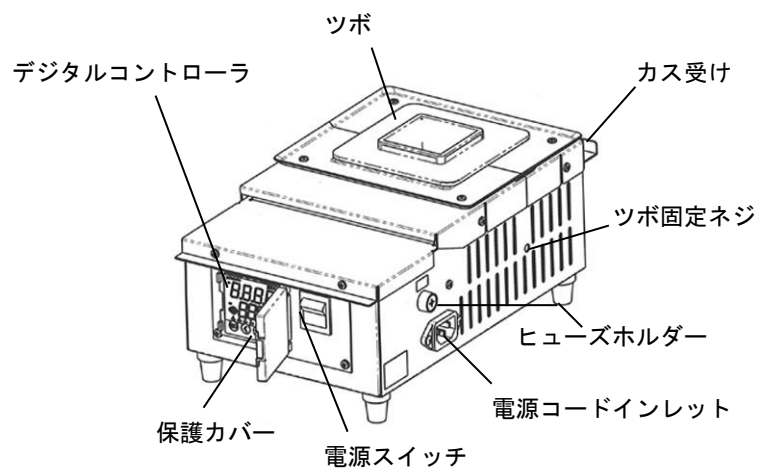
3.2 開封

下記梱包明細のものが入っているか確かめてください。梱包をしているパッケージは本器が正常に動作するとわかるまで捨てないでください。

梱包内容



3.3 各部の名称



4. 安全のために

- 1. 危険な環境下でご使用にならないでください。**
本機は頑丈な金属製の台へ設置し燃えやすいものを遠ざけてください。湿った場所、濡れた場所又は雨にさらされる場所(屋外も含む)、ではご使用にならないでください。爆発の可能性のある場所でのご使用は絶対にさけてください。ヒーターの熱が着火する原因になる可能性があります。また煙が発生しますので、換気をよくしてください。
- 2. 本機に子供、傍観者を近づけないでください。**
傍観者に本機をさわらせないようにしてください。作業場所から傍観者を遠ざけてください。
- 3. 正しい使い方をしてください。**
本機ははんだを溶かしてはんだ付けをする電熱器具です。本機をこの目的以外にご使用にならないでください。
- 4. 作業に適した服装で安全メガネや手袋を着用してください。**
ルーズな服装(ネクタイなど)はさけてください。長い髪は結んでください。服、髪がはんだ槽やその周囲に触れ焼けることがあります。
- 5. 電源は交流 100V 50/60Hz に接続してください。**
本機の電源電圧は交流 100V 50/60Hz 指定です。これ以外の電源電圧では使用しないでください。
- 6. 電源コードを折り曲げたりしないでください。**
プラグはしっかりとコンセントへ差し込んでください。定期的に電源コードを検査してキズ、断線などないことを確認してください。電源コード部分を持って本機を運ばないでください。ヒューズ交換や、ヒーター交換などのメンテナンスをおこなうときは、コンセントからプラグを抜いてください。またコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。プラグを持って引き抜いてください。電源コードに熱、油、鋭利な角を近づけないでください。
- 7. 工場以外では使用しないでください。**
本機は工場使用限定機器です。一般家庭などでは使用しないでください。機器からのノイズが家電製品へ影響を及ぼす可能性があります。



警告

はんだ飛散防止のため以下の事をお守りください。

飛散したはんだが人体に接触すると大やけどしますので注意してください。

- ・ スキージを水で濡らさないでください。

はんだに接触した際に水蒸気が発生し、はんだ飛散の原因になります。

- ・ 酸化物を除去する場合、付属のスキージをお使いください。

スプーンなどを代用すると、形状が異なるためはんだ飛散の原因になります。

また、はんだに接触した際に水蒸気が発生し、はんだ飛散の原因になります。

- ・ 表面がキレイなスキージで作業してください。

付着物によりはんだが飛散する原因になります。

- ・ スキージに錆が発生したら、新しいものと交換してください。

5. 操作方法



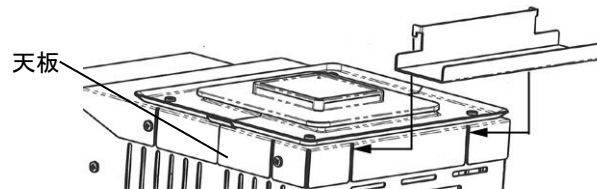
警告

火災、やけど、重大な事故などを防ぐために以下のことを遵守してください。

- 火災防止のため、作業場の燃えやすい物から本機を離してください。
- はんだ槽は、金属製の頑丈な台へ設置してください。はんだ槽ははんだが入ると重くなります。またツボとその周囲は非常に熱くなります。
- 焼けこげる臭い、ヒーターの異常加熱が発生したときは、直ちにプラグを抜いてください。その後はご使用にならないで、販売店またはお客様窓口まで返送ください。
- はんだ槽が熱い間は、はんだ槽を放置したままにしないでください。ツボとその周囲は大変熱くなっているので、電源スイッチと温度調整用コントロールパネル以外の本体表面に触れないようにしてください。
- 本体の電源が入っているときには、電源スイッチとコントローラ部分以外は触れないで下さい。

5.1 設置方法

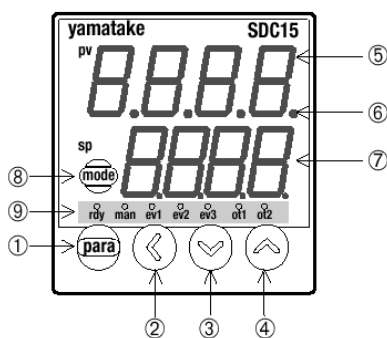
1. カス受けを天板へ取り付けます。本器では3方向に取付可能となっていますので、使いやすい方向に取り付けてください。



2. 電源スイッチがOFF(Oマーク側)であることを確認して、まず電源コードのカプラーをインレットに差し込んでください。その後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
3. ツボに適量のはんだを入れ、電源スイッチをON(Iマーク側)にしてください。最適のはんだ量は、ツボの上端から5mm下がったところです。
4. コントロールパネル設定手順に従い、設定(SP)温度を入力します。本機は、出荷時に270°Cに設定してあります。
5. 設定が終了すると設定パネルの出カランプ(ot1)が点灯し、温度コントロールを開始します。約7~8分後にはんだの溶解が始まりますので、最適のはんだ量まではんだを継ぎ足してください。出カランプ(ot1)が点滅となり、測定(PV)温度が設定(SP)温度と同じとなった時点ではんだ温度は安定します。目安として温度コントロール開始から約20分後です。はんだ表面の酸化スラジは付属のスキージで除去し、はんだ表面をきれいにしてからディッピングしてください。
6. 本機を使用されないときや、離れるときは、電源スイッチを切ってください。

5.2 部品名称とコントロールパネルの機能

本機のコントローラは、さまざまな用途に対応可能な汎用品です。本機において必要な設定は、温度設定のみです。その他の設定については、付属の「デジタル指示調節計 取扱説明書」を参照をお願いします。



- ① para キー (使用しません。) 表示項目の切り替えをします。→ 「デジタル指示調節計 取扱説明書」参照。
- ② < キー 設定変更時、数値変更したい桁までカーソル(明点灯)を移動するときに使います。
- ③ V キー 設定変更時、数値を減少したいときに使用します。

④ ^ キー

設定変更時、数値を増加したいときに使用します。

⑤ 第 1 表示部(PV 値)

運転表示状態で測定値(PV)を表示します。センサー断線した場合は、「AL03」が表示しますので、販売店へ修理を依頼してください。

⑥ オートチューニング(AT)/セルフチューニング(ST)表示ランプ→「デジタル指示調節計 取扱説明書」参照。

⑦ 第 2 表示部(SP 値)

運転表示状態で設定値(SP)を表示します。設定変更時は表示値や設定値を表示します。

⑧ mode キー (使用しません。)

1 秒以上押し続けるとモード切り替え表示となります。→「デジタル指示調節計 取扱説明書」参照。

⑨ モード表示ランプ

- ot1, :制御 1 の出力表示。ヒーターが ON のとき点灯します。
- rdy ,man, ev1, ev2, ev3, ot2 ----点灯しません。→「デジタル指示調節計 取扱説明書」参照。

備考：キー操作の際には先のとがったもの（シャープペンシルの先や針など）で押さないでください。故障の原因となります。

5.3 設定方法

入力方法の例として、設定値(SP)を 400℃に設定する場合を示します。(PV 値：30℃)

<p>1. 設定モードにする < キーを押して、SP 設定モードに入ります。第 2 表示部(SP)の最下位桁が点滅します。</p> 	<p>4. 百桁の位の変更 < キーを押して、点滅している桁を百桁の位まで移動します。</p> 
<p>2. 十桁の位の変更 < キーを押して、点滅している桁を十桁の位まで移動します。点滅する桁は、< キーを押すごとに以下のイラストのように移動します。</p>  	<p>5. 数値の増減 数値を増加させるには、^ キーを使用し、数値を減少させるには、V キーを使用します。</p> 
<p>3. 数値の増減 数値を増加させるには、^ キーを使用し、数値を減少させるには、V キーを使用します。</p> 	<p>6. 設定値の登録 設定が終了したら何もキーを押さない状態で 2 秒待ってください。点滅が止まり、設定値を確定し運転表示となります。</p> 

備考 1：設定値の変更中に点滅状態で 2 秒以上キー入力がない場合、点滅していた状態で設定値が確定され運転表示となります。

備考 2：設定値は、最高使用温度の 530℃以上には、設定できません。

備考 3：パラメータ設定、セットアップ設定などの変更については同梱の SDC15 取扱説明書をお読みください。

備考 4：設定終了後、保護カバーを閉じてください。コントローラへのキズ、汚れが軽減されます。

備考 5：設定モード中でも設定モードに入る前の設定温度で制御運転を行っています。

6. メンテナンス



警告

メンテナンスするときは、火傷、けが、事故防止の為、安全めがね、手袋、マスクを着用して充分注意しておこなってください。

- はんだの量は、溶解した状態で、常にツボの上端から約 5 mmになるように調整してください。
- はんだ槽は長期間使用すると、ツボ内壁に酸化物がたまり、ヒーターからの熱伝導が悪くなり、ヒーターのオーバーヒートやはんだの加熱不足が発生する恐れがあります。定期的に付属のスキージで、ツボ内壁をこすって、酸化物の除去を行ってください。

7. 故障の時に

問題: はんだが溶けない

a) 設定温度表示が点滅していない

原因	対策
電源コードの両端のうちどちらか一方（または両方）が抜けている。	プラグを差し込んでください。
電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にしてください。
電源コードが断線している。	電源コードを交換してください。
ヒューズが切れている。	ヒューズを交換してください。

b) 設定温度表示が点滅している

原因	対策
設定温度がはんだ溶解温度よりも低い。	設定 (SP) 温度をはんだ溶解温度よりも高くする。
ヒーターが故障している。	ヒーターを交換してください。
アラームコード表示になっている。	SDC15 取扱説明書のアラームコード一覧表を確認してください。

上記で問題が解決しなかった場合は、**goot** 代理店または **goot** お客様相談窓口までご連絡ください。

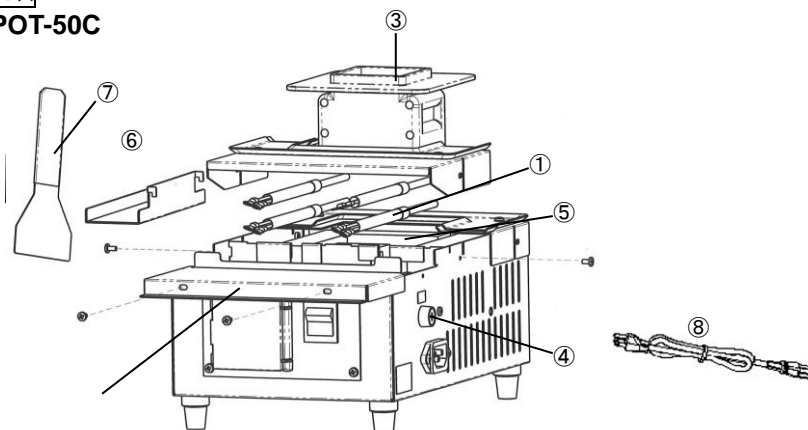
8. 交換部品

8.1 交換部品

No.	品名	No.	品名
1	ヒーター (100V)	5	耐熱ボードセット B-50
2	ヒーターブロック *POT-50C には不要です。	6	カス受け
3	ツボ (鋳鉄) POT-50C 用 *ヒーターブロッカー体型	7	スキージ
4	ヒューズ 15A 250V	8	電源コード

8.2 交換手順

POT-50C



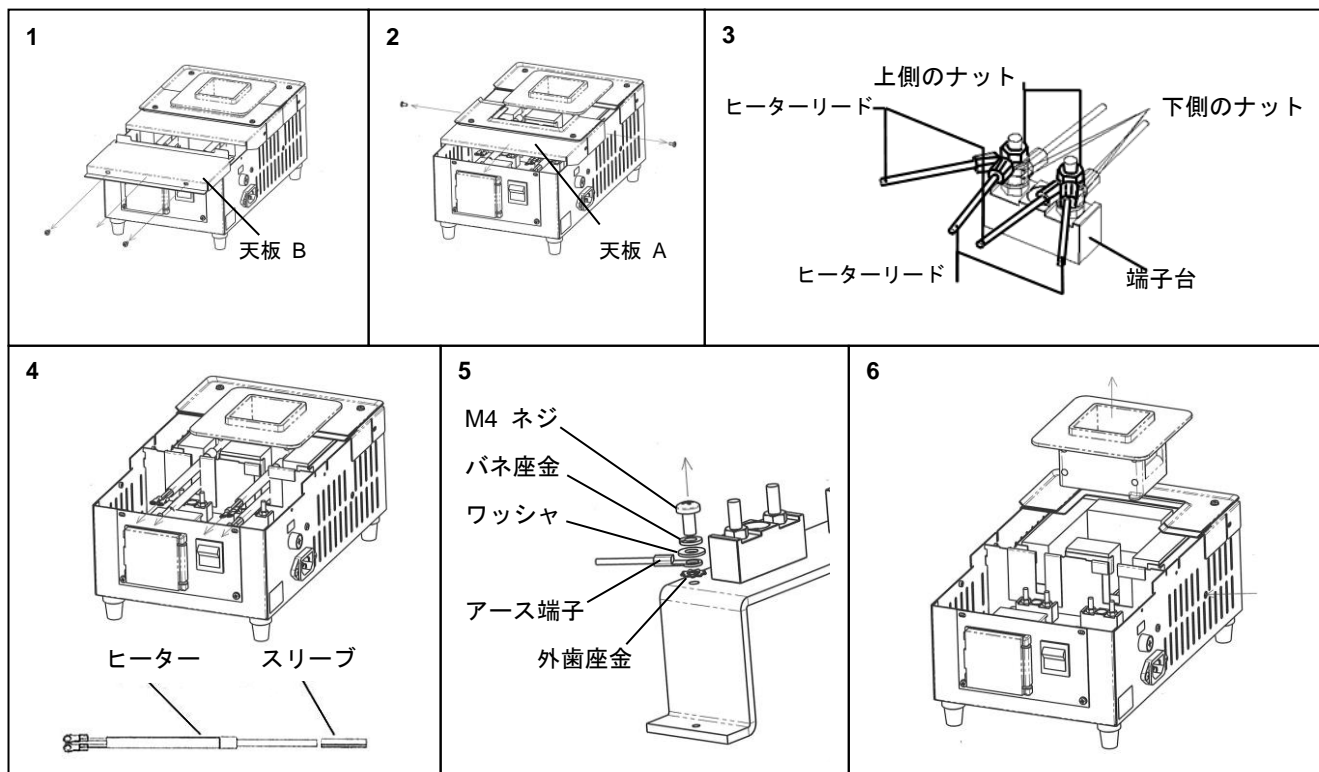


警告

ツボとヒーター、耐熱ボードの交換作業を行う前には、電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。ツボが完全に冷えるまで交換作業を行わないでください。

ツボおよびヒーターの交換

1. 天板 B のネジ 2 本をドライバーでゆるめて取り外します。
2. 天板 A のネジ 2 本をドライバーでゆるめて取り外します。
3. 端子台からナット 4 個を取り外します。ナットを取り外すときに、下のナットをゆるめないよう注意してください。
4. ヒーター 4 本をツボのヒーター挿入穴から抜き取ります。このとき、スリーブがヒーターについて出る場合がありますので、出た場合は、スリーブを再挿入してください。
5. ターミナルブロックの M4 ネジをゆるめて、ツボ用アース端子を取り外します。
6. 右側面のツボ固定ネジをゆるめ、ツボを真上に持ち上げて、本体から外します。
7. 新しいヒーターまたはツボをはめて、逆の順序で組み立ててください。





TAIYO ELECTRIC IND.CO.,LTD
太洋電機産業株式会社

お客様相談窓口 www.goot.co.jp

東京 03 (3832) 1774

大阪 06 (6644) 3508

新潟 0256 (35) 5379

広島 084 (951) 9010

A4190AL00 2019-02-15